

田原町立田原福祉専門学校後援会機関誌

たつぷく だより

No. 5

編集発行 平成 14 年 3 月 1 日
田原町立田原福祉専門学校後援会
会長 川 澄 春 男



課題



副校長
高 松 徹

後援会の皆様には、日ごろから、温かいご支援をお寄せくださいます。ありがとうございます。

私は、昨年四月に本校の副校長に就任しました。それまでは、善意銀行というボランティアアビュローを通じて、善意による寄付金品の活用およびボランティア活動の斡旋をもって、福祉事業を側面から支援する活動に携わってきました。

その中で、平成八年に開校した田原福祉専門学校を、いわば外側から見聞きしてまいりました。全国に数少ない公立の福祉系専門学校で、入学希望者は近隣高等学校をはじめ全国から多く集まり、福祉施設や医療関係も含め就職も実績を上げていることなどを知ってきました。

その後、学内に身を置くことになり、いろんなことが分かりました。公立の幸いを大きく生かした学校設備の充実、目を見張るばかり。熱心に学ぶ素直な学生諸君。専任教員、非常勤講師の先生並びに職員熱心

な取り組み。それらの上に、草創期から、住民の皆様をはじめ地域や団体の皆様方、後援会の温かいご声援が寄せられていることを知りました。地域に根差す人材育成の必須要件を見た思いを深くし、皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、私が、熱心に介護福祉士を目指す学生諸君を励ますことに素晴らしさを覚えていることは言うまでもありません。が、その中で、課題として思うことは、学生の中に福祉に熱い思いをいだきながらも、介護福祉の現実に直面して考え込んでしまったり、あるいは、介護職の実態を知り、併せて自分自身を知るにつけ、自分がやりたかったのはこれではないと考えだしたりする学生がいることです。

翻つて考えますと、介護職は、正に、人間の尊厳と真正面から向き合う仕事です。考え込んでしまう学生も、また、他の福祉職をと悩む者も、弱冠十八、九歳でこの道を志したことを考えますと、あながち驚くことではありません。

介護福祉士になることを迷いつつも、それでも福祉に熱い情熱を持っている学生に、自らを生かす道を探し出させるにはどうしたらよいか、私の大きな課題になっています。

私はいつも、苦しむことは一つも無駄にならないと信じています。自分を生かす将来の道を決める重要な時期に、悩んだり苦しんだりすることはむしろとても良いことです。

ある時期、時間数や点数で、あるいは評価で悩み苦しんだ学生が、将来、人の悩みがよく理解できる心豊かな介護福祉士となる夢を見ることはできないことではありませぬ。全く同様に、福祉に携わりたい意志を生かすために、より意欲的に他の福祉職への道を選択することも、必要な場合もあります。ただ、いずれの時にも、苦しみを避けないで取り組み続けることです。

専門学校としても現状にとどまることなく、新しい視野に立ち、時代の動向を見据えながら、そのノウハウを活かすことに務め、意義あらば、高等教育機関への発展的変更も含め、常にあるべき姿を検討していくことが大変重要と考えています。

このことが、福祉職に情熱を寄せ幅広い学生に門戸を大きく開き、一層多様化する学生の育成に配慮することであり、併せて、より専門化していく地域福祉の要請にも力強く応えることになることを確信しています。皆様の「ご理解あるご指導とご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。」

この人に聞く

四期生のお二人とは、田原町の「ガスト」で食事をしながらの楽しいインタビューでした。

介護福祉士を目指した理由は？

小池 昔から人が好きだったから人と関わる仕事をしたかった。

國枝 高校の進路決定の際、「資格を取りたい。」との希望に先生から「あなたは日々変わる仕事に向いている。」と言われ、田原福祉専門学校が近くにあり安易に決めました。

入学して学生生活での感想は？

小池 勉強の内容も高校までとは違つし、実習などもあり戸惑うことがばかりでした。

國枝 第一段階の実習で職員の方から一通り説明していただき、「後はお願ひね。」と言われ、あ然としたこともありました。

風まつり、田原まつり、たっぶ



國枝さん

小池直子さん・國枝伸江さん 共に四期生
鈴木均昇さん・平松文江さん (第1科修了者)



小池さん

く祭など学校行事を通しての感想は？

小池 たっぶく祭の実行委員長を務めさせてもらいましたが、腹の底から意見交換をすればよかったこと、今年、外からたっぶく祭を見て、やっぱり学生主体の行事だと痛感しました。もし、もう一度やり直しができるなら、お年寄り、障害者、地域の人々に喜んでいただける催し物を考えてみたいと思いました。

國枝 私達の学年から始まった行事が多く、戸惑うことがかりでしたが、田原町の方々と接する機会が持てたことは良かったと思います。

勤め出してから感想は？

小池 たっぶく祭の経験から、職場でのレクリエーション、利用者の居場所など話し合う機会を設けてもらい、プロとしての自覚を持って働



平松さん(左)と鈴木さん(右)

いています。

國枝 学校で二年間演劇をやっていました。声の出し方、利用者を引きつけるコツはつかめたと思います。主役は利用者で、相手を立てること、自分は脇役を演じられるようになってきたと思います。

最後に田原福祉の後輩に言いたいことをお願いします。

二人 初めは難しいと思いますが、利用者の声を聞いて欲しい。ついつい職員に聞いてしまいがちですが、まずは「利用者と話す。」をいつも頭の中に入れて情報を得るようにして欲しいと思います。

次に、第一期ヘルパー養成研修修了者のお二人にお話しを伺います。まず、受講されたきっかけを教えてください。

平松 私は、渥美郡の精神障害者作業所に三年前から勤めています。

平成十四年から精神障害者のヘルパーが導入されるという事で、何か役に立てばと思い受けました。

鈴木 広報で知りました。私は会社員なんですが、特技や資格もなく何かと思っているところにヘルパー研修を知り、受けれるものなら受けたいと思い受講しました。

どのような方が受講されていましたが？また授業はどうでしたか。

二人 二十代から六十代と幅広く、実際に介護の現場で働いている方から会社員、特に三十、四十代の主婦が多かったです。授業は金、土、日の週末でしたが、皆休むことなくやる気のある人達ばかりで、半年間しっかり勉強しました。

最初の授業では、一番ヶ瀬先生の講義があり「困ったこと」をテーマにロールプレイを行いました。相手の立場になり考え、会話のキャッチボールをする、初めてのことで戸惑いもありましたが、先生の批評もいただき、とても勉強になりました。

ヘルパー講習を修了をされたとうですか？

平松 最初にも言いましたが、私は今精神障害者作業所で働いています。どのような障害を持っていても



聞き手の二人<杉浦(左)・畔柳(右)>

考えることは一緒だと、相手に寄り添い相手の気持ちを尊重し共鳴することが大切なのだと思えて感じました。技術面に関しても、利用者この先の高齢化を考えると、身体介護は重要となります。いずれは身につけた技術を役立てることができればと思っています。鈴木さんも今活動されていますよね・・・

鈴木 私は会社勤めの合間をつかいてヘルパーの仕事をしています。

ご自分の仕事をしながらだと生活にゆとりがなくなってしまうのではないですか？

鈴木 仕事があれば忙しいと思うし、なければまた寂しいような感じもあります。それでもヘルパーの仕事が好きで、利用者と接することでお互いの気持ちを和ませ、心地良い

気分を味わうことができます。生活にメリハリができて、自分なりに両立しているので、楽しく過ごさせてもらっています。

最後に今後の目標をお聞かせ下さい。

平松 今の作業所だけでなく、精神障害者のヘルパー事業が始まり依頼があれば個人の家へも行きたいですね。水面下で心の病を持った人達が沢山いるのではないかと思います。

鈴木 福祉に関わることにより自分の考え方も変化してきました。色々なことに興味を持つようになり、家庭も知らず知らずのうちに丸くなってきました。今後自分の栄養として介護に携わっていきたいです。

取材を終えて

四人とも、田原福祉で学んだことを職場で生かし、頑張っているように感じられ、前向きな姿に私達二人も触発され、気持ちを引き締めることができました。

この記事を書くにあたり、楽しい出会いができたことに感謝いたします。

インタビューア

杉浦 恵子(第三期卒業生)
畔柳久美子(第四期卒業生)

たつぷくに 入ってよかった 学園生活を語る

各種の学生参加行事の中心となり活躍した皆さんに語ってもらいました。(参加者〓山田、伊藤、大河、小林、外山、塚本、中神、彦坂、渡辺の諸君)

初めに「風まつり」について話してください。

- ・ 田原へ嫁に来てから、いつも遠くから風を見ていただけでしたが、この学校に入って初めて参加させてもらい、迫力を感じました。荒々しい言葉をぶつけ合っている中に、男のイキを感じました。
- ・ 作る時から、すごい闘いが始まっているんですね。上げるにも「箆持ち何年」とか言われて、高い技術が必要……。実際に糸を持たせてもらったんですが、風がすごく重かった。
- ・ けんか風のチームに行って、部屋中風だらけでびっくりしたり……。みんなが好きなことを楽しんでやっている姿がかっこよかったです。
- ・ まさに、男のロマンの世界に、私たち女性が学生だからといって参加させてもらっていいのかなあと思いました。



風を見つめる真剣な眼ざし

「ヨットエイドジャパン」参加の感想はどうですか。

- ・ 初めて参加しました。ヨットに参加する前は、先入観があつて、障害を持つてる人は、外へ出にくいと思つてたんだけど、全く違つていました。
- ・ ぼくは「ヨットエイドに行つて楽しんでこい。」と言われて、ただ楽しんでただけですけど……。その中でどんな人でも楽しみ方は同じで、自分が気持ちいいことは、相手

も気持ちいい、相手が楽しいことは自分も楽しい。それが、空だったり、海だったりということ、それでいいのだと思うようになりました。ヨットというスポーツを通して、人と人の大切な関係を学べた気がしました。

「田原まつり」参加はどうでしたか。

- ・ 田原の人は、よそ者のぼくたちをすんなりと受け入れてくれ、気軽に声もかけてくれて、人が丸いと思います。
- ・ 祭りの実行委員をやったんですけど、町内の例会に参加しても、温かく見守つていてくれて、当日も、みこしの組立てなどやつてもらつて、うちら学生全体を祭りの中へ引き込んでくれて、親心のようなものを感じました。
- ・ すごく楽しかった。みこしを担いだとき、一つの物をみんなで支えているという一体感を味わい、よかったです。
- ・ 田原まつりの実行委員として、面白かつたけど後悔が多いです。自分の話がみんなにうまく伝わらなくて……。もう一度あれば、きつとつまみできると思う。
- ・ とにかく楽しかったです。みこしの上に乗つた気分は最高。

「たつぷく祭」はどうだったですか。

- ・ 終わりがよかつたので、みんなよかつたです。
- ・ 片付けのときも、みんながさつさと動いてくれて短時間で終わつたんですよ。とても気持ちよかつたです。
- ・ リーダーが良かったんだよ。
- ・ 昨年の反省も生かされているし、リーダーも良かった。
- ・ 後夜祭が、すごく盛り上がつてよかつたですよ。

どんなことをやつたんですか。

- ・ 今の二年生が去年作つた歌を、一年生がこっそり練習して、皆で歌つたんです。泣く人もありました。これがすごくよかつたです。
- ・ 四月、たつぷく祭実行委員会を立ち上げたんですけど、何していいか



ヨットの出港風景



田原まつりのたつぷくみこし

分からなくて、会議の開き方もまずくて、猛烈な批判を浴びて、もうやめようと思ったことがあります。ぼくは、どちらかと言うと、人とのコミュニケーションが苦手なもので…。

・人を引張るのではなくて、Wさんは、人を盛り立ててくれる力があるんです。

・たつぷく祭はよかつたなあ、という満足感があります。

このあたりで話題を変えましょう。田原の町や人の印象を聞かせてください。

・地域の方が話しやすいし、あいさつも交わしてくれるし、また、寮の近くの人が「野菜持ってく？」と気軽に声をかけてくれて、とっても優しく感じます。

・行き会つ中学生から「こんにちわ」と声をかけられてびっくりしました。自分の中学・高校の頃と比べて驚きましたよ。

・私は岐阜県から田原へ来て、もう二十年になりますが、気候が違いますね。初めは風が強くてびっくりしましたけど、日差しが違うんですね。窓ガラスを通して入ってくる日差しが、すごく暖かいんですね。自然が豊か、海も山もある。あさりの天ぷらや酢味噌も食べられるし、温室みかんもあって、すごくいい所だなあと思つてます。

・三河弁が、初めはちょっと怖い感じがしたんですけど、三河の人は、心の中は裏表がなくてあつたかなあと思います。

・近くに店がないのがつらい。

・お祭りのすごさを感じます。歴史もあり、ここというときには、町が一つにまとまるというのがすごいですね。

・きれいな町だなあと思います。道が歩きやすいですね。

・人があつたかです。すごく町の人が協力的です。

就職戦線も厳しいようですが、皆さんのこれからの方向は？

・私は実家の両親が病気になつてしまつて、どう世話をしたらよいかと悩む中で福祉の勉強を思い立つたんです。家は飲食店を営んでいますし、今すぐ介護福祉士として就職するかどうか考えているところです。



盛り上がった後夜祭

・私も大好きな祖父が何もしてあげないうちに逝つてしまつて悔しかったです。だから、介護老人保健施設で働きたいと思つてます。

・ここで勉強しているうちに、社会福祉士という資格をとりたいと思うようになりました。もっと広く深く福祉を考えます。

・高校の時、車椅子バスケットのボランティアで障害を持つ人と接することが多く、ここに入るきっかけになりました。

・介護福祉士になりたいです。

・兄が身体障害者で、兄の役に立ちたいと思います。

・親戚に脳障害の人がいて福祉に関心を持ちましたし、両親のすすめもあつてこの学校に入りましたが、今

ちよつと甘かつたかなと思つています。でも、資格は取得します。

・介護の施設に勤めたい。

・やっぱり福祉の道でやっていて、結婚もしたいし、いい家庭もつくりたいし、仕事と両立できるか考えています。

・家を離れ、田原から出てもいいから、勤めたいと思つています。

・ぼくは福祉の現場でなく、外食産業に入るんですが、障害者の人が家に閉じこもりがちだから、おいしい食品を提供して、何度も来てもらうことを目指します。ぼくの夢はつかいやすいです。ぼくらが足で歩くように、障害者が車椅子で自由に出歩ける世の中をつくりたいのです。

どんな仕事に就いても福祉の視点は大切です。そういう意味で、この学校に入ったのはよかつたし、外食産業に入るのも一度外からの視点で福祉を見てみようと思つているのです。

また、たつぷく祭の実行委員長を経験して、とっても大切なことを学ばせてもらい、人生の宝物を手に入れました。四年制の大学に進学していたら、絶対に体験できなかったことをさせてもらいました。

(聞き手・文責 林)

学校紹介

開校五周年記念式典開催

校歌を発表

平成十三年六月二十五日に開校五周年記念式典が行われました。

当日は設置者の田原町長や本校川添登校長からあいさつがあり、開校前から今日まで本校の創設に大きくご尽力を賜りました一番ヶ瀬瀬康子前顧問、西三郎前校長、露木悦子前副校長、古林淑子前副校長の四名に感謝状の贈呈が行われました。開校以来待望していた本校校歌も、作詞大岡信先生、作曲一柳慧先生のご協力をいただき完成しました。当日校歌発表が在校生の歌声とアンサンブルの演奏で紹介されました。また、第一期生の石田房枝さん（障害者施設勤務）、第三期生の杉浦恵子さん（在宅介護）から卒業生の体験発表が行われ、柴田美代さん（授産施設勤務）からは寄稿があり代読しました。そして記念演奏会の後、全員で校歌を斉唱し式典の幕を閉じました。

平成八年四月に開校し、校長は二代目、卒業生は三四人となり、

平成十四年三月には第五期生を社会に送り出します。

介護保険の導入とともにカリキュラムの改正も行われ、授業時数は二一六〇時間に増え、生活文化論、社会保障、音楽などの科目増設や医学、介護技術などの時間数増加や内容の見直しも行いました。

平成十三年度には学校誌「福祉地域」も創刊するに至りました。介

護福祉教育の変遷や福祉教育の実践報告、学生レポート報告などが盛り込まれています。

「人権尊重の介護」「創造する福祉文化」「地域に開かれた教育」を教育のキーワードに、恵まれた環境の中で介護福祉教育を展開してまいりましたが、今後も時代に即した教育を展開し、内容の充実と共に学校の安定化を図っていくものです。

学生自治会発足 学生自主活動を充実

学生自治会が平成十三年十月五日に発足しました。初代会長に二年生の伊奈裕輔君が決まりました。

現在、組織のあり方、規約、運営方法などについて、学生の声を聞きながら役員の皆さんで検討中であり、本格的活動は平成十四年からはじまります。

今まで、多くの学生たちが活躍した田原凧まつり、田原まつり、たつぷく祭、ヨットエイドなどの活動は、それぞれその都度実行委員会が結成され実施されてきました。この自治会は、その活動の組織の一体化を図るとともにクラブ活動やボランティア活動、学内生活などさまざまな学生生活に視点を置き、学生自ら考え、創意工夫のもとに自主的に充実した学生生活の実現を図るため設立されたものです。

学校では学生たちの主体性にまかせ側面から支援していくものです。

学生自治会の活動費は、後援会からの助成金と会員拠出の会費と合わせて運用ということになります。

若い命がほとばしるのを期待して学生自治会を育てたいと思いません。

田原町立田原福祉専門学校校歌 介護の誇り 胸に秘め

作詞 大岡 信慧
作曲 一柳 慧

一 さわやかに吹く海風に
汐川干潟 活気満ち
静かに群れる 渡り鳥
北に南にひろがるは
われらの夢の 長い腕

二 蔵王の山を ふり仰ぎ
未来を語る午後もある
介護の誇り 胸に秘め
友の笑顔は わが案内人

三 からくり人形 けんか風
東三河に名も高い
祭りの日々を 楽しさよ
黒潮走る 大洋に
若いいのちも ほとばしる

先輩からの一言

母校訪問ノートより

社会人も楽しいよ、世界が広がる感じ。仕事とプライベートとどっちも楽しいことが大切。
(まっこ)

社会人になつたら・・・飲みすぎに注意。酒を飲んでも

飲まれるな！
これは社会人の第一歩。
(あっこ)

ストレス太り注意。
(あだち)

自分に言い聞かせていること。人間を相手にしていることを忘れない。見えないところに感謝が転がっています。
(白井)

学生の皆さんへ 授業も大切だけど仕事を始めるとあまり遊べなくなるのでたくさん遊んだ方がいいと思います。
(るんるん)

仕事をしていて楽しいこと。お年寄りの笑顔が見られることです。笑顔で接するとみんなが寄ってきてくれてうれしい。でもニヤニヤしてしまつと、ふざけたように見られてしまつので、気をつけています。

先輩寮母さんから、若いから最初は頼られないけれど、自分で仕事を見つけて小さいことでも積み上げていき、信頼されるよう頑張っています。
今回皆さんのコメントをまとめるために、全部ノートを読んでみました。自分で納得できることが多かったし、とてもためになつたので、みんなも在校生の皆さんへのノートをぜひ見てね。
(鳥加奈)



蔵王苑4年目の橋本君(1期生) コメント:「つらい時が人間成長のとき」

時間はあるようでない。何事にも真剣に取り組む姿勢を忘れず、前を向いて進んでいこう。
(コバケン)

私が卒業してから一番辛いことは田原から遠いところに就職したことです。学校でできた大切な友達とも

なかなか会えなくなつちやいました。みんな元気にやっていますか？みんなに会う機会をいっぱい作るこゝとが、今の一番の課題です。
(まき)

今私の職場に

は・・・田福生がアルバイトに来ています。私はそのアルバイトさんは、とてもすばらしいと思います。いつもありがとうございます。そして私達の施設の良い点、悪い点を見つけて、良い点は学び、悪い点はどうすれば良くなるのか考えてみてください。私達職員も、悪い点は改善していくよう努力していきますと思ひます。
(野田)

す。バイトは大変ですが頑張ってください。
(野田)

毎日毎日、すごく環境の変化が激しくて、目の回る毎日。昨日元気だった人も、今日は死んじやいそうだったり。後悔しないように、毎日を

大切に！
(早川)

僕は職場で初の体験をしました。それは、心肺蘇生です。本当に入居者の方の心肺蘇生をしたんです！皆さん、救急救命はしっかり学び、いざというとき適切な行動がとれるようにしましょう。
(藤原)

田福で偶然めぐり合えた仲間を大切にしましょう。いつも何気なく近くにいる人も、いざというとき、絶対支えになってくれます。人脈は、最高の財産です。仲間がみんなでPO(技師装具士)になる夢を応援してくれています。妥協せず理想を現実に行けるよう日々努力していきたい。最高に笑える日があつたらいい。今を生きていきたい。
(藤城)

仕事をしていく上で大事なことは息抜きをしながら仕事をしていくこと。
(高木)

施設の愚痴がたくさんあり、学校の先生、友人に聞いていただきました。やめたいと思っていました。そのことを理解し、一緒に悩んでくれる人がいるということからとても安心します。
(三浦)

たっぴく テイルーム



オーナー
柴田 美代・山崎 瓦

お客様
岩田 靖子・松原 宣子
岡本貴美子・石井 理枝

① 今日は平均年令が少し上です
ね。あつこめん、私を含めてだけど。
② 気持ちは若いから大丈夫だよ。
③ じゃあ、今のみんなの職場を
聞かせてよ。

④ 私は卒業してからヘルパーの
サービスを立ち上げ、やっと慣れて
きたところです。

⑤ 私は特別養護老人ホームで四
年目になります。最近、気になるの
は、あいさつできない人が多いんだ
よね。

⑥ 私は通所施設で働いているん
だけど、仲間と散歩に行ったときな
んか誰にでもあいさつしまくって
よ。

⑦ 私も、田舎道、走っているん
だけど車の中から頭下げてる。誰か
分かんないけど。(笑)

⑧ 僕は介護老人保健施設で働い
ています。廊下でお年寄りに会った
時は、笑顔で声をかけています。

⑨ やっぱ、あいさつって大切だ
よね。「出会いの入り口」だって誰
か言ってたよ。

⑩ なるほど、いい表現じゃん。

① 在宅・通所・施設で働いてい
る人達が集まっているんですが、何
か困ったこと、悩みごとなんてあ
る？

② 私はヘルパーをしてたんだけ
ど、利用者の方に「あなた本当に
できるの?」と言われたの。人生経
験も少なく、若いということが不安
で悩みだったかな。

③ 辞めた後、利用者の方が「良
くやってくれた。」って言ってたよ。
顔を見るとほっとするんだって。

④ そう言えば、以前行った実習
先で、ほっとする人と、はっとす
る人がいるって言ってたよ。一字違
いで意味が反対だね。

⑤ 在校生の方がいるんですが、
就職はどうするんですか？

⑥ 私は年令も考えて、就職せず
に地域福祉をしたいと思っていま
す。実は私が仕事を持っていない時
に、母が痴呆になり、ご近所の方に、す
ごくお世話になって……、今度は私
が恩返しをと思っています。

⑦ 最近、近所づきあいって無い

よね。みんなの所はどう？

⑧ うちも最近できた新興住宅地
だから無いよ。これから不安だね。

⑨ うちはまだ母の代からの近所
づきあいがあつて、夏休みに話し相
手になったりしました。将来は地域
の役に立ちたいと思って、今ここで
勉強してるんです。

⑩ わー、私もそれやりたい。こ
れからは地域福祉だよ。

① 最近会議が多くて、これが夜
中までかかる会議もあつて結構苦痛
なんです。

② そんなに遅くまでやってんの。
次の日の仕事にも差し支えるんじや
ないの？で残業手当は付くの？

③ 無いです！

④ それじゃいい介護できないよ。
疑問に思ったことは、ドンドン言っ



た方がいいよ。

① 介護って技術だけじゃないよ。

② 連携がすごく大事、ケアマネ
ージャーのプランで訪問しても、本
人の体調や、家族の気持ちプラン
通りにいかなくて困っちゃった。

③ そんなときどうするの？

④ ケアマネージャー、ヘルパー、
家族も一緒に利用者の方にとって一
番いい方法を話し合っています。

⑤ その家にもよるんじゃないで
すか。

⑥ そう、その家に入り込まず、
離れずって難しいよね。

⑦ 利用者の方本人だけでなく、
取り巻く家族の人との関わりの方が
大変だよ。私も実感してるもの。

⑧ そう言えば、頑固でなかなか
人を受け付けない人がいてね。家族
の人が来て私を呼んで介護して欲
しいと言われて、すごく嬉しかった。
ほんとに介護福祉士になってよかつ
たと思った。

⑨ だからこの仕事続けられるん
だよ。僕もガンバろう。

⑩ 人と人とのつながりは、やつ
ぱりハート、心だよ。

① これからも利用者の方に喜ん
でいただき、こちらも喜びを分けて
もらえる介護をしていきたいです
ね。今日はお疲れ様でした。